

# 第3章

## 工業用水道事業



澁川工業用水道事務所 濃縮槽



## 1 事業概要

工業用水道事業は、昭和38年に地方公営企業法が適用され、低廉豊富な工業用水を安定的に供給することにより、県内工業の振興発展に寄与することを目的としている。

企業局では、利根川の表流水を水源とする渋川及び東毛の2箇所の工業用水道を運営しており、地域開発のための基盤整備事業として、環境及び国土の保全を図る地盤沈下対策事業として重要な役割を果たしている。

また、附帯事業として、渋川工業用水道では渋川市へ上水の原水供給を行っている。

## 2 令和7年度事業(実績)

### (1) 給水実績

	渋川工業用水道	東毛工業用水道	合計
給水事業所数	8社8事業所	91社102事業所	99社110事業所
年間契約水量 (m <sup>3</sup> )	41,692,100	30,682,218	72,374,318
年間総給水量 (m <sup>3</sup> )	31,338,234	12,368,542	43,706,776
年間給水料金 (千円) (税込)	688,224	1,170,780	1,859,004

### (2) 主な建設改良事業

#### ① 渋川工業用水道

- ・配水池耐震補強外工事 44,000 千円
- ・濃縮槽耐震補強工事 27,148 千円

#### ② 東毛工業用水道

- ・北西ルート配水管路強靱化予備設計業務委託 32,822 千円
- ・館林工業団地(近藤町)舗装本復旧外工事 35,146 千円

## 3 令和8年度事業(予定)

### (1) 業務の予定量

	渋川工業用水道	東毛工業用水道	合計
給水事業所数	8社8事業所	91社102事業所	99社110事業所
年間契約水量 (m <sup>3</sup> )	38,773,800	30,335,880	69,109,680
年間総給水量 (m <sup>3</sup> )	31,020,620	12,587,755	43,608,375
年間給水料金 (千円) (税込)	647,777	1,156,578	1,804,355

### (2) 主な建設改良事業

#### ① 渋川工業用水道

- ・吾妻川横断配水管路布設工事
- ・浄水場照明取替工事

#### ② 東毛工業用水道

- ・北ルート配水管路強靱化工事(第1期)
- ・中央監視設備更新工事

#### 4 施設の概要 (令和8年4月1日現在)

	渋川工業用水道 (渋川市白井957)	東毛工業用水道 (太田市高林南町1-7)
事業費	当初 859 百万円 拡張 3,575 百万円 改築 3,897 百万円	当初 16,320 百万円 拡張 16,171 百万円
建設期間	当初 昭和38年度 ~ 昭和44年度 拡張 平成10年度 ~ 平成20年度 改築 平成30年度 ~ 令和2年度 平成元年度 ~ 平成21年度	当初 昭和50年度 ~ 令和2年度 拡張 昭和62年度 ~ 令和2年度
給水能力	120,000 m <sup>3</sup> /日	128,500 m <sup>3</sup> /日
水源	利根川表流水	利根川表流水 草木ダム(通年) 奈良俣ダム(冬期) 八ッ場ダム(冬期) 利根川表流水(夏期)
給水開始年月日	昭和40年8月10日 (一部) 昭和44年4月1日 (全部)	昭和53年10月18日 (一部) 昭和55年4月1日 (全部)
給水区域	前橋市、高崎市、渋川市、吉岡町	伊勢崎市、太田市、館林市、板倉町、 明和町、千代田町、大泉町、邑楽町
給水事業所数	8社8事業所	91社102事業所

## 5 経営の状況

### (1) 給水量と料金収入の推移

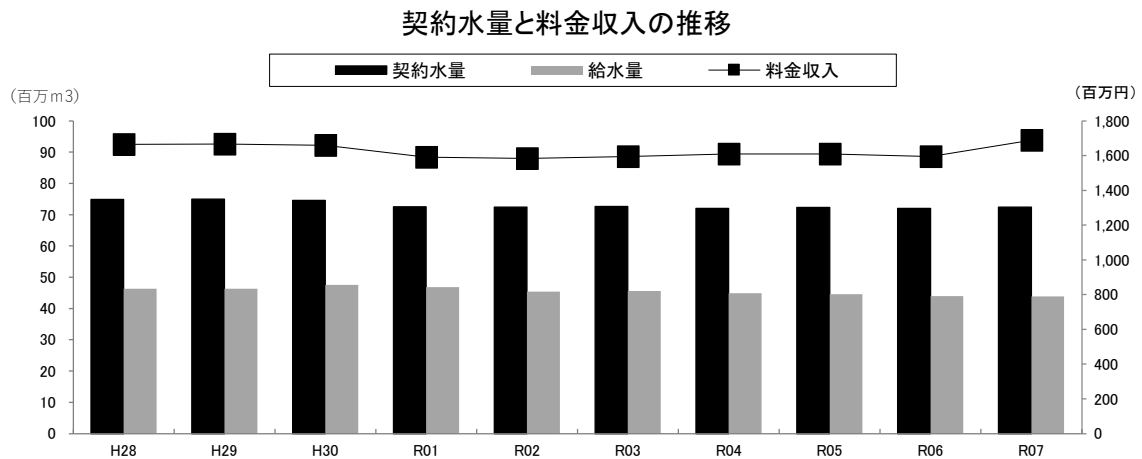
(税抜)

区 分		年 度				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (予定)
渋川工業用水	契約水量(千m <sup>3</sup> )	41,471	41,585	41,610	41,692	38,774
	給水量(千m <sup>3</sup> )	31,557	31,737	31,344	31,338	—
	給水率(%)	76.1	76.3	75.3	75.2	—
	料金収入(千円)	560,769	562,490	562,006	625,658	647,777
	対前年比(%)	105.8	100.3	99.9	111.3	—
東毛工業用水	契約水量(千m <sup>3</sup> )	30,563	30,708	30,383	30,682	30,336
	給水量(千m <sup>3</sup> )	13,314	12,828	12,578	12,369	—
	給水率(%)	43.6	41.8	41.4	40.8	—
	料金収入(千円)	1,049,012	1,046,665	1,032,013	1,064,344	1,156,578
	対前年比(%)	98.6	99.8	98.6	103.1	—
合 計	契約水量(千m <sup>3</sup> )	72,034	72,292	71,993	72,374	69,110
	給水量(千m <sup>3</sup> )	44,870	44,565	43,923	43,707	—
	給水率(%)	62.3	61.6	61.0	60.6	—
計	料金収入(千円)	1,609,781	1,609,155	1,594,019	1,690,002	1,804,355
	対前年比(%)	101.0	100.0	99.1	106.0	—

注1：給水率＝給水量／契約水量×100

注2：令和5年度は「うるう日」を含む。

注3：令和4年度から6年度は決算値、7年度は本書作成時の決算見込値、8年度は当初予算値



## (2) 契約料金

## ① 渋川工業用水道

(円/㎡・税抜)

年 度	S40 ～ S49	S50.4 ～ S50.12	S51.1 ～ S55	S56 ～ H6	H7	H8 ～ H11	H12 ～ H18	H19 ～ R3	R4 ～ R6	R7 ～
基本料金	4	6	7	9	11	12	13	12	12	12
使用料金	—							1	2	4

注： H19. 4. 1～二部料金制導入

## ② 東毛工業用水道

(円/㎡・税抜)

年 度	S53 ～ S55	S56 ～ S58	S59 ～ S61	S62 ～ H元	H2 ～ H4	H5 ～ H7	H8 ～ H10	H11	H12	H13 ～ H18	H19 ～ R6	R7 ～
基本料金	13	16	19	22	26	29	32	33	34	35	33	33
使用料金	—										2	4

注1： H19. 4. 1～二部料金制導入

## 6 予算

収益的収支及び資本的収支の状況

(単位 千円)

区 分		令和8年度当初予算	前年度当初予算	
収益的 収入 ・ 支出	工業用水道事業収益	2,089,482	2,138,694	
	営業収益	1,804,355	1,838,403	
	営業外収益	285,127	300,291	
	工業用水道事業費用	2,126,287	2,100,149	
	営業費用	1,927,145	1,935,081	
	営業外費用	179,142	145,068	
	予備費	20,000	20,000	
	差 引	△ 36,805	38,545	
	資本的 収入 ・ 支出	工業用水道事業資本的収入	287,000	923,451
		補助金	0	14,300
他会計からの長期借入金		287,000	722,250	
工事費負担金		0	186,901	
工業用水道事業資本的支出		986,425	1,597,500	
建設改良費		326,714	870,865	
企業債償還金		346,395	413,319	
出資金及び貸付金		100,000	100,000	
他会計からの長期借入金 償還金		163,316	163,316	
予備費		50,000	50,000	
差 引	△ 699,425	△ 674,049		



# 東毛工業用水道事業概要図

